

科目名 Subject	平面造形演習Ⅰ Two Dimensional Art WorkⅠ		教員名	栗本 佳典	
開講年次	1	開講時期	前期	単位	2
必修／選択	必修	授業形態	演習	時間	30
実践的教育	×				
主な学習効果	1) 美容技術とデザイン力、すなわち美容における実践力		2) 表現力、すなわち芸術における実践力		
	—		◎		
科目の概要	表現力や造形力の土台となる基本的なデッサンをはじめ、自ら画面構成を考える応用デッサンを行います。 また、平面造形にとって大切な明暗表現や色彩表現などの演習も行います。				
授業の目標	物の形やバランス、量感、質感などを客観的に正しく把握すると同時に、画面全体と部分との関係、画面構成などを考える力を養うとともに、様々な描写技法により画面を作り上げることができる。 また、自分の作ったものを客観的に観察し、完成度の高いものを求めることができる。				
時間外学習 (予習・復習)	月に一回は展覧会を見に行き、毎回４時間程度かけて優れた絵画作品を数多く鑑賞し、その表現内容や表現方法について研究して下さい。				
教科書・教材	教科書	なし			
	教材	なし			
	使用設備・備品	デッサン室			
	参考文献				
評価方法	表現方法の理解度２０％ 課題に取り組む姿勢５０％ 課題作品の完成度３０％				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	個別に実地指導を行います。				
履修上の注意	なし				
本科目履修と関連する資格	資格名	なし			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	オリエンテーション	学位取得に向け、作品制作における意義を理解する。	
第２回	基礎デッサン①	形や明暗を捉え表現する方法が理解できる。	
第３回	基礎デッサン②	形や明暗をを確認しながら画面を仕上げることができる。	
第４回	応用デッサン①	形や明暗、質感を捉える方法が理解できる。	
第５回	応用デッサン②	形や明暗、質感を意識して描くことができる。	
第６回	応用デッサン③	画面全体の明暗を意識して描く力を高めることができる。	
第７回	自動描写と彩色①	無意識による制作を行うことで作品の幅を広げることができる。	
第８回	自動描写と彩色②	無意識によってできた作品に、意識して彩色を行うことで作品の幅を広げることができる。	
第９回	キュビズム的デッサン①	キュビズム的デッサンの手法を知り描くことができる。	
第１０回	キュビズム的デッサン①	キュビズム的デッサンの手法を知り描くことができる。	
第１１回	キュビズム的デッサン②	構成したものをバランスを考えて画面作り上げることができる。	
第１２回	キュビズム的デッサン②	構成したものをバランスを考えて画面作り上げることができる。	
第１３回	キュビズム的デッサン③	バランスや明暗を考えて画面全体を作り上げることができる。	
第１４回	キュビズム的デッサン③	バランスや明暗を考えて画面全体を作り上げることができる。	
第１５回	講評会	自分が制作した作品について説明することができる。	